

各高等学校長 様

栃木県高等学校体育連盟会長 吉成 卓  
〈公印省略〉  
栃木県高体連柔道専門部長 吉田 嘉宏  
〈公印省略〉

令和5（2023）年度栃木県高等学校総合体育大会兼第71回関東高等学校柔道大会栃木県予選会の開催について

標記大会を下記のとおり開催することといたしました。

つきましては、貴校関係職員（部活動指導員等）・生徒の参加について特段の御配慮をお願いいたします。

記

- 1 主 催 栃木県高等学校体育連盟 栃木県教育委員会
- 2 共 催 栃木県柔道連盟
- 3 主 管 栃木県高等学校体育連盟柔道専門部
- 4 期 日 令和5年4月30日（日）開場8：00 男女個人試合 審判監督会議10：00予定  
令和5年5月1日（月）開場8：00 男女団体試合 審判監督会議 9：30予定
- 5 会 場 ユウケイ武道館（栃木県総合運動公園内武道館 栃木県宇都宮市西川田4-1-1）
- 6 競技方法及び規定 (1) 審判は国際柔道試合審判規定（最新版）並びに、全国高等学校体育連盟柔道専門部及び栃木県高等学校体育連盟柔道専門部申し合わせ事項による。  
(2) 団体試合及び個人試合男女ともにトーナメント方式とする。  
(3) 試合時間は全て3分とする。延長戦（ゴールデンスコア：以下GS）は時間制限を設けない。  
(4) 優勢勝ちの判定基準について  
①団体試合は、「技あり」または「僅差」以上とする。チームの内容が同等の場合は、代表選手をその対戦に出場した選手から任意で選出して代表戦を行う。代表戦で得点差が無い場合は延長戦（GS）により勝敗を決する。延長戦（GS）における優勢勝ちの判定基準は、「技あり」以上もしくは指導差が出た時点で勝敗を決する。「技の内容」と「指導」の重みは、【一本＝反則勝ち＞技あり＞僅差】とする。「僅差」は指導差2とする。  
②個人試合は「技あり」または「僅差」以上とする。技による得点が同等の場合は延長戦（GS）を行い、「技あり」以上または指導差が出た時点で勝敗を決する。「僅差」は指導差2とする。  
※団体試合の代表戦もしくは個人試合において、反則累積による「両者反則負け」になった場合はスコアをリセットし、延長戦（GS）において勝敗を決める。延長戦（GS）で反則累積による「両者反則負け」になった場合はスコアをリセットして再度延長戦（GS）を行い、必ず勝敗を決する。すべての試合に適用する。  
(5) 全ての試合で3位決定戦を行う。男子団体試合の5～8位決定戦は準決勝進出チームに敗退したチームがブロック同士の試合を行い、順位を決定する。  
(6) 団体試合における勝敗の決定について  
①勝ち数の多いチームを勝ちとする。  
②①で同等の場合は、「一本＝反則勝ち」の多いチームを勝ちとする。  
③②で同等の場合は、「技あり」による勝ちの多いチームを勝ちとする。  
④③で同等の場合は代表戦を行う。  
(7) 個人試合は男子無差別、女子体重別7階級とする。  
(8) 関東高等学校柔道大会の要項に準じて行う。
- 7 参加資格及び制限 (1) 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校および中等教育学校・高等専門学校に在籍する生徒。  
(2) 栃木県高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒および中等教育学校・高等専門学校に在籍し、**（公財）全日本柔道連盟に令和5（2023）年度登録及び登録予定の者。**  
(3) 平成16年4月2日以降に生まれた者。ただし同一学年での出場は1回限りとする。  
(4) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）ただし、一家転住等やむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。  
(5) 外国人留学生は卒業を目的として入学していること。短期留学の者の参加は認めない。  
(6) 団体試合について

【男子】

- ① 1校1チームの参加とし、全・定・通の混成は認めない。
- ② チーム編成は、監督1名、選手7名（軽量級4名・無差別3名）の計8名とし、試合に出場できるのは5名（先鋒から軽量級3名・無差別2名）とするが、5名に満たない場合（3名以上）でも出場できる。その際、軽量級・無差別それぞれの体重区分の後ろ詰めとする。
- ③ 体重区分は、軽量級73kg以下とする。ただし、出場は登録した階級に限る。

【女子】

- ① 1校1チームの参加とし、全・定・通の混成は認めない。
- ② チーム編成は、監督1名、選手5名（軽量級3名・無差別2名）の計6名とし、試合に出場できるのは3名（先鋒から軽量級2名・無差別1名）とするが、3名に満たない場合（2名以上）でも出場できる。その際、後ろ詰めとする。
- ③ 体重区分は、軽量級57kg以下とする。ただし、出場は登録した階級に限る。

【男女共通】

- ① 参加申込者に変更が生じた場合は、大会当日の審判監督会議までに校長の証明書を添えて申し出た者のみ認める。ただし、選手変更は軽量級1名、無差別1名までとする。
  - ② シードは前年度全国高等学校柔道選手権大会栃木県大会において男子ベスト8、女子ベスト4とする。
  - ③ 外国人留学生のチーム人員は男女とも1名以内とする。
  - ④ 人数が男子3名、女子2名に満たない学校は合同チームでの参加を推奨する。
- (7) 個人試合について

【男子】

- ① 体重の制限は設けない。
- ② エントリーは1校4名までとする。ただし、前年度全国高等学校柔道選手権大会栃木県大会無差別ベスト4をシードとして別枠で出場できる。

【女子】

- ① 選手は7階級（48kg級・52kg級・57kg級・63kg級・70kg級・78kg級・78kg超級）とする。
- ② 参加人数の制限はしない。ただし、前年度全国高等学校柔道選手権大会栃木県大会（48kg級・52kg級・57kg級・63kg級）と前年度栃木県高等学校新人柔道大会（70kg級・78kg級・78kg超級）のベスト4をシードとする。
- ③ 女子団体試合は軽量級（57kg以下）に出場し、個人試合を57kg級より重い階級には出場できない。
- ④ 選手の変更は組合せ抽選の前日までに専門委員長に申し出る。様式は団体試合に準ずる。

【男女共通】

- ① 外国人留学生の参加人数の制限は設けない。

8 引 率 引率責任者は、校長が認める当該校の職員とし、選手のすべての行動に責任を負うものとする。また、校長から引率を委託された「部活動指導員」も可とするが、その場合は栃木県高等学校体育連盟に届出をする。

9 計 量 (1) 予備計量：4月30日（日）8：30～9：00  
本計量： 〃 9：00～9：50（変更がある場合は放送で周知する）  
(2) 回数：2回まで認める。2回目でクリアできない場合は失格とする。  
(3) 計量時の服装については、原則として男子は短パン（またはスパッツ）のみ、女子は上がTシャツで下が短パン（またはスパッツ）とする。  
※計量は男女団体試合軽量級及び女子個人試合に出場する全選手が行う。（団体試合無差別は行わない）

10 参加申込 (1) 申込み方法及び申込先

- ① 栃高体連柔道専門部のホームページより申し込みファイル(EXCEL形式)をダウンロードしてデータを入力し、プリンターで印刷したものを送付すること。校長及び顧問印の無いものは受け付けない。  
〒320-0846 栃木県宇都宮市滝の原3-5-70  
栃木県立宇都宮高等学校 市川敦敏 宛て郵送※使送不可
- ② データを入力した申込みファイル(EXCEL形式)を電子メールに添付し電子メールにて送付すること。  
[hirano-s01@tochigi-edu.ed.jp](mailto:hirano-s01@tochigi-edu.ed.jp) 栃木県立烏山高等学校 平野聖 宛て  
※FAXによる申込は不可。大会不参加の場合のみ所定の用紙に記入しFAXにて回答可とする。

(2) 申込締切 **令和5年4月18日（火）必着**（(1)①、②ともに）とする。

※以後の申込は一切受付しないので、余裕をもって申込みこと。

(3) そ の 他 大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に使用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。

11 組 合 せ 令和5年4月21日（金）団体試合は全体顧問会議で抽選、個人試合は専門委員会で抽選をする。

12 安全管理 (1) 大会期間中における安全対策及び緊急時の対応については「栃木県高等学校体育連盟危機管理マニユ

感染予防 アル」に則り、適切に対応する。

(2) 新型コロナウイルス感染症への対応は、関連する機関の「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に則り、適切に対処する。また、大会参加1週間前から健康記録を行うこと。なお、健康記録表兼同意書については栃高体連柔道専門部ホームページからダウンロードし、決められた方法で提出すること。

13 その他 (1) 第71回関東高等学校柔道大会(令和5年6月2～4日:茨城県武道館)は団体試合男子7校、女子3校、個人試合各2名が出場できる。

(2) 専門委員会 4月21日(金) 9:30～ユウケイ武道館会議室1  
全体顧問会議 4月21日(金) 13:30～ //

※年間を通じて本大会のみ全体顧問会議を実施する。重要事項の説明があるので、今年度の大会に参加予定校の顧問は必ず参加すること。

(3) 大会出場には「(公財)全日本柔道連盟」の登録(団体登録料1校8,800円、指導者登録料1名5,200円、個人登録料2,200円)等が必要になるので、全体顧問会議で説明する。

(4) 脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。

- ①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、必ず脳神経外科の診察を受けて出場の許可を得ること。
- ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。至急、専門医(脳神経外科)を受診すること。
- ③練習を再開するには、必ず脳神経外科の診察を受けて許可を得ること。
- ④当該選手の顧問は、大会事務局および(公財)全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(5) 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

(6) 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(IJF赤ラベル・赤認証ラベル)と帯(IJF青ラベル・黒認証ラベル)を着用すること。女子の黒帯は白線入りを不可とする。

(7) 氏名・所属校名が入ったゼッケンを縫い付けた柔道衣を使用すること。ただし、1年生については今大会のみゼッケン無しで出場可とする。

(8) 団体試合出場校は5月1日(月)の受付で初戦のオーダー表を提出すること。オーダー表は栃高体連柔道専門部ホームページからダウンロードすること。

(9) 大会参加にあたっては、本人および保護者の同意を得ること。

(10) 8:00開場後、直ちに試合会場の準備を行うので、参加校・選手の協力をお願いします。

(11) 栃高体連柔道専門部ホームページアドレス【<http://tochigikoutairenjudo.info/index.html>】

※各種大会等に関する情報を掲載するので確認すること。

(12) 新型コロナウイルス感染症の感染状況により変更となる可能性がある。変更等がある場合は高体連柔道専門部ホームページ等を活用して周知する。

※諸事情により送付が遅れましたこととお詫び申し上げます。  
提出期日が差し迫っておりますが宜しくお願いします。

栃高体連柔道専門部 委員長 市川敦敏 栃木県宇都宮高等学校 TEL 028-633-1426
---